

目次

2017年度ホームカミングデーと卒業35周年記念パーティー	1
より強い「C&I」を目指して	1
第4回中大落語会	1
古都・鎌倉巡りと洋館ランチ	2
シバ研	2
関西分会が実質スタート	2
年次セミナー 江藤氏講演	2

第4回中大落語会開催

春風亭三朝師匠 真打昇進記念

去る7月22日(土)、お茶の水・中大駿河台記念館550教室において第4回の中大落語会が開催されました。

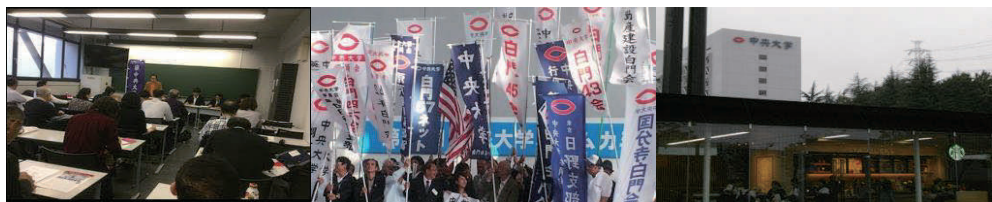
すっかり定番となりました白門57ネット支部の落語公演行事ですが前3回までは我々白門57ネット支部が主催(年次支部協議会後援)してまいりましたところ、今回からは年次支部協議会からのご支援を頂ける事となり年次支部協議会との共催として開催されました。各年次支部の先輩後輩、中国からの留学生等も含め老若男女50名ほどにお集まり頂きました。

お招きしたのは春風亭三朝師匠。中大文学部出身。本年3月に真打に昇進されましたので真打昇進記念と銘打ちましたの公演となりました。

会場はいわゆる普通の学校教室です。ここにテーブルを並べその上に毛氈を引き座布団を置き高座とします。正直なところ、師匠の話が始まるまでは会場の空気も落語を聞くというよりも授業を受けるような雰囲気が漂います。

しかし出囃子の音と共に師匠が登壇し話のまくらが始まりますと徐々にその雰囲気が変わってきます。いつのまにか単なる教室がどこかの演芸場のような雰囲気となり一気に落語の世界に没入していくのです。お話の時間は1時間程度と決して長くはありませんが濃密な落語の世界に浸ることができました。

講演後の懇親会も師匠にご参加頂き、多くの参加者が懇親を深めました。(浅野昌宏)



2017年度ホームカミングデーと卒業35周年記念パーティー

10月22日(日)、台風接近により風雨が強まる中、模擬店中止など規模を縮小して、第26回ホームカミングデーが開催されました。生憎の天気にもかかわらず、多くの仲間が多摩キャンパスに集い、旧交を温めることができました。

白門57ネット支部の第15回総会は、11時より5404号教室で、34名の会員出席(委任状273人)により開催されました。浜田会長は開会挨拶で、この1年の成果として、関西分会の発展(会員29名)、学員会での地位向上(協議員、商議員への選出)、新しい封筒作成などを挙げ、今後の予定として、九州分会の設立検討、恒例となった中大落語会の7月開催(桂やまと)などの発表がありました。(写真左上)

続いて、池田副会長を議長に選任し、議事の審議に入りました。1号議案(14期活動報告、決算)、2号議案(役員・運営委員改選)、3号議案(15期活動計画、予算)は、全て全会一致で承認されました。この後、報告事項に移り、シバ研(多田)、イザ研(岡)、トリ研(兼兼)、グル研(池田(冬))からは、今後の活動計画が、関西分会の磯野・奥田副分会長からは、支部活性化に向けた決意表明が、そして田川イベント企画役より、2年ぶりとなる箱根駅伝応援と支部コロナ新年会の案内があり、最後に岩崎副会長の閉会挨拶で、無事総会は終了しました。

総会后、場所をヒルトップ4Fのレストラン四季に移し、ここから参加の5名を加え、「卒業

35周年記念パーティー」が開催されました。舛森初代会長、工藤副会長の挨拶に続き、東谷副会長の乾杯で、にぎやかな宴はスタート。初参加者のユニークな挨拶を交え、35年分の思い出を最良の肴に、時のたつのも忘れ、そこかしこで、笑い話の輪が広がりました。土屋広報役の先導による校歌斉唱、浅野副会長の中締で、名残を惜しみつつ散会となりました。(竹林 聡)



より強い「C&I」を目指して・・ 会長あいさつ

57ネットには二つのキャッチコピーがあります。源流にあるのが「57ネットは我らのたまり場!!」であり、時として姿を変えるのが「C&C」そして現在の「C&I」です。中大を表す「C」ですが、この二つの「C」はコミュニケーションとコラボレーションを、「I」はインクリース(増加・拡大)を意味しています。



(白門57ネットの新ロゴ)
2つのCに中央大学のCを加えて3Cとし、右肩上がりの直線でIncreaseを表しています。

白門57ネット設立より15年目、総会にて役員改選が行われ任期である今からの2年間、目標とする方針は以下の3点です。

一つめは、関西分会の拡大を目指します。

昨年関西分会が大阪を拠点とし設立され本年5月、関西分会役員4名の初企画が大阪白門サロンにて開催されました。57ネットに会員は29名ですが、学員会へ登録されている同期は他に107名おります。この方々に57ネット入会とイベント参加をお願いします。

二つめは、九州分会の設立を目指す初年の期とし、その実現の試行を目指します。

現在判明していることは、九州には約200名の学員会登録の同期がおり、その半数が福岡県、熊本県に居住されています。従って交通網を考慮すると拠点は福岡市を考えております。

三つめは、中大のグローバル化支援のため、国際センターを通じての活動に資金面で協力していくことを目指します。

ただこれは57ネットの財源に関わるものゆえ、慎重かつ着実に協議を積み上げてゆきたいと思っています。57ネット会員の皆様のご協力、特に近畿地区、九州地区の会員の皆様のご協力、ご支援を頂きたく、今後とも57ネットの諸活動へのご参加を宜しくお願いいたします。

(会長 浜田 英明)



グルメ研究会 古都・鎌倉の寺社巡りと洋館ランチ

4月30日、いよいよグル研スタート。記念となる第1回目のイベントは『新緑の鎌倉ウォーク&洋館ランチ』と題して、古都・鎌倉の寺社を巡りながら、ランチは歴史ある洋館をリノベーションした建物でカマクラランチを楽しむ企画としました。

素晴らしい天気のもと、16名の参加者が集まって鎌倉駅を9時半にスタート。段々をそぞろ歩きながら八幡宮を見て最初の目的地である新緑の美しい浄光明寺へ。普段は聞く事の出来ない住職のお話を聞きながら歴史、仏像のお勉強。その後は扇ガ谷の閑静な街並みを楽しみながら、花

の寺として名高い鎌倉唯一の尼寺・英勝寺へ。

気持ちの良い朝の鎌倉散策を楽しんで少しお腹がすいてきたところに現れたのが鎌倉三洋館のひとつ、古我邸。1916年に三菱財閥の別荘として建てられた建物は戦後接収され、一時将校クラブとして利用されたが、のちに日本人カーレーサーの草分けである古我信生氏の所有となった。広々とした庭園越しに見る木造建物が美しい。

この建物を大々的にリノベーションし、レストランとして再生したのが築後100年の2016年。往時の雰囲気を残す建物でいただくランチにお

いしいワインで別世界のランチを楽しみました。

グル研では単なる美食ではなく、こうした歴史上の建物や古民家をリノベーションしたレストランなどを題材にしながら、格調高い研究会を目指していきます。次回企画にもご期待ください。

(池田 冬彦)



年次支部セミナー

「執筆活動と危機管理」 江藤史朗氏が講演

去る1月21日、57ネットの会員でもある江藤史朗さんをお招きし『執筆活動と危機管理』という題で講演していただきました。当日は他支部からの参加者も含め32名で江藤さんのお話を拝聴しました。

江藤さんは危機管理の会社を経営なさる一方、ご存知の通り「濱嘉之」のペンネームで数々の警察小説をお書きになっている作家さんでもあります。前職(警視庁公安部や内閣官房内閣情報調査室などで勤務)の経験を生かした臨場感あふれる描写に定評があり、講演いただいたときも『カルマ真仙教事件』(講談社)の執筆中だったのか、待ち時間にも難しいお顔でパソコンに向かっていたらっしゃいました。

(この会報が届くころには「下巻」も発売になっているかな?小説家という部屋に閉じこもってペンを片手に頭を悩ませているイメージがありますが、江藤さんは電車の中でもパソコンで執筆なさるそうです。)

「リアルタイムなネタを小説にし、将来を予言するようなものを書きたい。」とおっしゃる江藤さんの講演は、幅広い情報収集力と分析能力が必要な公安警察出身らしくトランプ政権誕生や英国のEU離脱、世界経済の動向など世界情勢の中の日本の立ち位置から氏の小説のネタ探しまで、非常に興味深い話題満載でした。

すっかり江藤さんのお話しに魅せられた後は、場所を「げんない」に移し、江藤さんや他支部の参加者も交え賀詞交歓会を行いました。

(中村 嘉宏)

2017年「シバ研」報告

シバ研は白門57ネットのゴルフフリークのたまり場として、毎年2回のコンペと年1回の有志によるラウンドを通じて親睦を深めています。

2017年は5月と11月にコンペを大月カントリークラブ(山梨県)にて、8月には有志による親睦ラウンドを山田ゴルフ倶楽部(千葉県)にて開催しました。

5月14日(第11回)の優勝は多田さん、11月19日(第12回)の優勝は平輪さんでした。

シバ研は、これからもゴルフを通じた同期の親睦をリードしていきます。

初心者の方、女性ゴルファーの皆さんも楽しめる集いですので、さらに多くの皆さんの参加をお待ちしています。

尚、第13回シバ研は2018年5月13日(日)大月カントリークラブにて開催します。(多田 弘之)



関西白門57ネットが実質スタート

大学を卒業して35年以上経ちました。年を重ねると昔が懐かしくなるものです。昨日一昨日のことは忘れても、若い頃の思い出は何かの時、鮮明に思い出します。

関西に住んでいると「中央大学」の名前は、普段あまり聞くことはありません。その中で、私には年に2回、学生時代を思い出させてくれるイベントがあります。

一つは「箱根駅伝」。毎年当たり前のようにテレビを見ていましたが、それが途切れると連続出場の数打ちが改めて分かりました。今回は見事、予選突破!! 箱根

駅伝を見ながら学生時代を思い出すお正月が、またやってきます。

もう一つは「職場のOB会」職場にも白門会があり、年に1回、懇親会を開いています。会員は50名近く。思い出話に花が咲き、校歌を歌うのも楽しみです。

この度、この2つのイベントに新たに「関西分会」が加わりました。会員は29名。これまで浜田会長の声かけで集まっていたが、今年5月の懇親会は、初めて関西分会が事務局となって開催しました。参加者は11名。



最初の集まりとしては大盛会でした。

最近読んだ「定年後」という本に「60~75歳をどう生きるかが人生で重要」と書かれていました。そのためには、いろんな人とネットワークを持つておくことが大事と思っています。その一つが『中央大学のネットワーク』。年に何回も盛大とはいきませんが、少しずつでも息の長い活動をしたいと考えています。皆様のご支援をお願いいたします。

(安田 善彦)